

三重 NEWS WEB

外来患者減り医療機関経営に影響

07月16日 19時40分



三重県内で開業している医師や歯科医師のうち、新型コロナウイルスの影響で、5月の外来患者の数が減ったと回答をしている人は医師で8割近く、歯科医師で9割以上にのぼり、経営に影響が出ていることも三重県保険医協会の行ったアンケート調査でわかりました。

三重県内の医師や歯科医師が加入している三重県保険医協会は、6月、新型コロナウイルスの影響について開業医の会員を対象にアンケート調査を行い、270人から回答を得ました。

それによりますと、外来患者の数の変化について尋ねたところ、5月、前の年の同じ月に比べ「減った」と回答しているのは医師の78%、歯科医師の92%にのぼることがわかりました。

これにともない、保険診療の収入が減った医師や歯科医師も出ていて、このうち前の年の同じ時期より収入が30%以上落ち込んでいる人の割合は、医師が43%、歯科医師が41%にのぼり、経営に影響が出て、閉院を考えている医師などが出ていることもわかりました。

自由記述欄には「病院や診療所では院内感染が怖いという患者が多くなった」とか、「時間のかかる検査を避け薬の処方だけを希望する患者も多くなった」という患者の医療機関離れを指摘する声もあり、三重県保険医協会の宮崎智徳会長は「医療機関も感染対策をとっているので自粛せずに治療に来てほしい」と話しています。

【NHKホームページのスクリーンショット】